

令和4年度 岐阜県美術館 第2回美術品収集委員会 議事録

日時・場所	令和4年12月6日(火) 午後2時00分～3時30分 於：東京藝術大学学長室 令和4年12月8日(木) 午後3時45分～5時 於：岐阜県美術館特別応接室 令和4年12月14日(水) 午後2時20分～3時20分 於：岐阜県美術館特別応接室
出席者	(委員) 雪山行二 美術史家・美術評論家(前富山県美術館長) 村田眞宏 豊田市文化財課博物館準備室参与(前豊田市美術館長) 矢橋龍宜 矢橋ホールディングス株式会社代表取締役社長 田口義隆 セイノーホールディングス株式会社代表取締役社長 高橋明也 東京都美術館長 長屋光枝 国立新美術館学芸課長 花里麻理 茨城県陶芸美術館学芸課長 (事務局) 日比野克彦 岐阜県美術館長 田中誠記 岐阜県美術館副館長兼総務部長 正村美里 岐阜県美術館副館長兼学芸部長 青山訓子 岐阜県美術館学芸課長 廣江泰孝 岐阜県美術館学芸係長 松岡未紗 岐阜県美術館学芸主査(西洋美術担当)他、美術館職員 河田哲也 岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課長 他、文化伝承課職員
議事内容および委員からの意見	
進行：正村副館長、作品説明：松岡学芸員 日比野館長 挨拶	
委員からの意見 (作品実見後の最終意見)	
【購入作品】1点	
・オディロン・ルドン	
A 委員	岐阜県美術館はルドンに的を絞って地道に調査研究と収集をしている。海外でも知られているし、これまでの蓄積の成果としてこうした機会をものにしていくこと、活かせることはすばらしい。ルドンの価格が高騰している中で、この価格で入手できるのは幸運だ。
B 委員	大変良い作品。価格がリーズナブル。ルドン作品のユニークさ、深さが出ている。作品のイメージソースとなるステンドグラスのある教会、聖堂を調査するとよい。
C 委員	素晴らしい作品を見せていただいた。岐阜のルドンコレクションの奥行きが広がる。美術史的にも、イメージが曖昧であること、あえてイメージをひとつに限定しないことに価値をもってくるのがこの時代以降なので、イメージの恒常さが感じられる素晴らしい1点。
D 委員	長年の調査研究の賜物。この作品をきっかけにルドンの内実が解き明かされていくことを楽しみにしている。
E 委員	作品の質がとても良い。ステンドグラスなのか、窓の向こうに風景が広がっているのか、窓枠の向こうの不思議な世界の表現がとてもルドンらしい。収集に賛成だ。100年以上前の作品でオリジナルの木枠などが残っているのは貴重である。もっと高額なのでは思っていた。幸運な話だ。研究材料としても非常に面白い。
F 委員	こうした話はすぐに通り過ぎ去ってしまうので、猫が飛びつくかのように捕まえるべき。長年のルドン研究の実績に対してのプレゼントだ。収集に大賛成。
G 委員	作品も作品の調査についても素晴らしい。美術館の収集の軸となるコンセプトはよくわかった。それをクリアにしていってほしい。この作品に対する研究の成果を来館者にどう伝えるのか、見る人々に何を与えるのか、何を提供できるのかを考えていってほしい。この作品を収集することで様々な将来像が描ける。楽しみだ。
館長	様々に貴重なご意見をいただいたことにお礼申し上げる。この作品の購入、収集については問題なしと承った。(お礼)